

公益財団法人実務技能検定協会 令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

I 事業の実施状況

本協会は、定款第3条および第4条に基づき、ビジネス実務に関する技能検定の実施により、ビジネス実務に対する学習意欲の喚起、職業教育の充実、および職業人の職業技能の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行った。

【公益目的事業（公1）】

1 技能検定の実施

(1) 令和元年度における秘書技能、ビジネス文書技能、ビジネス実務マナー技能、サービス接遇実務およびビジネス電話実務の計5種目の技能検定を、計画通り実施した（「令和元年度技能審査実施状況表」参照）。その結果、志願者合計は202,606名となり、前年度比5.2%減（11,178名減）であった。

2 ビジネス電話実務検定の廃止およびビジネス実務マナー技能検定のリニューアル

- (1) 第32回検定（令和元年11月24日実施）をもってビジネス電話実務検定の筆記試験を廃止した。（実技試験の「実践級」は令和2年度実施をもって廃止）
- (2) ビジネス電話実務検定の内容を出題領域として取り入れた「(リニューアル) ビジネス実務マナー技能検定」の実施準備を行った。

3 秘書技能検定の答案紛失事故

第118回秘書技能検定（令和元年6月16日実施）の埼玉大会会場（外部委託業者が実施運営）において、2級受験者の答案108名分が紛失した。

当該受験者に対し再受験を依頼した結果、再受験が95名、次回検定への繰り越し7名、返金6名となった。

4 研究会・講習会の開催

(1) 秘書ビジネス実務教育担当者地方研究会

ビジネス系検定の普及・振興を目的として、ビジネス実務教育の担当初任者に対し、検定指導法等についての研究会を全国9地区において開催し（4/20仙台，5/11那覇，5/18大阪，5/19名古屋，5/25新潟，9/14札幌，9/21東京，10/19福岡，10/20広島），計133名が出席した。

(2) 秘書・サービス接遇準1級面接試験実施担当者地区別研修会

秘書技能検定およびサービス接遇実務検定準1級面接試験実施担当者の能力保持を目的に，2/22仙台，3/1金沢において研修会を実施した。

3/7広島，3/8福岡，3/14大阪は，新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした（9月以降に延期）。なお，4/4名古屋，5/17那覇，6/21東京も中止とし，7/18札幌（サービス接遇），12/12札幌（秘書）の実施は未定。

5 成績優秀者および成績優秀団体の表彰

(1) 各検定の表彰数

(個人)

検 定	文部科学大臣賞	優 秀 賞	日本秘書クラブ会長賞
秘書	2	56	40
ビジネス文書	2	32	22
ビジネス実務マナー	2	18	10
サービス接遇	2	68	21
ビジネス電話	2	14	15
合 計	10	188	108

(団体)

検 定	文部科学大臣賞	団体優秀賞	感謝状贈呈
秘書	3	65	120
ビジネス文書	3	7	10
ビジネス実務マナー	3	5	6
サービス接遇	3	30	20
ビジネス電話	3	3	3
合 計	15	110	159

(2) 成績優秀者・優秀団体表彰式の中止

令和元年度成績優秀者・優秀団体表彰式を、令和2年3月4日、アルカディア市ヶ谷（新宿区）において開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を見合わせた（賞状・副賞は全件郵送した）。

【収益事業（収1）】

以下の通り、実務技能検定に関する問題著作権の提供等を行った。

- (1) 早稲田教育出版に対し、ビジネス系検定実問題著作権の提供およびビジネス系検定受験参考書の監修を行った。
- (2) ㈱ユーキャンに対し、前年度に引き続き秘書検定実問題1回分およびサービス接遇検定の実問題1回分の著作権をそれぞれ提供した。

以上